

(8) 飼料作物

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	利用 目的	栽植 様式	作型模式図												
					1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
トウモロコシ	中山間・高冷地帯	36B08 34N84 P0640 TX1241	サイレージ	7,000粒 (極早生)					○	—	□						
	平坦・中山間地帯	KD640 SH4681 KD671 ZX4182 P2088	サイレージ	7,000粒 (早生)					○	—	□						
	平坦・中山間地帯	31P41 KD731 32F27 NS127	サイレージ	6,500粒～ 6,800粒 (中生・ 中晩生)				○	—	□							
ソルガム	平坦・中山間地帯	スーパーシュガー ソルゴ ビッグシュガー ソルゴ	サイレージ	散播 2～3kg 条播 1～2kg					○	—	□						
									○	—	□						
スー ー ダ ン 型 グ ラ ス ガ 及 ム ビ	平坦・中山間地帯	ヘイスーダ スダックス ラッキーソルゴ	サイレージ	スーダン <sup>®</sup> ラス (散播) 6～8kg  スーダン型ソル ガム(散播) 2～3kg					○	—	□						
									○	—	□						

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆肥及び 土づくり資材等 の施用例	備 考
		成分	基肥	追肥	成分 合計		
5,000 ～ 6,500	6.0 ～ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	22 20 35		22 20 35	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を4,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素:2.8kg りん酸:16.0kg 加里:32.8kg を差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルについては土壌pHが適正範囲にある場合は省略可能。</li> <li>土壌分析し可給態りん酸が不足する場合は、過りん酸石灰、ようりん等を施用すること。</li> </ol>
1回刈 5,000 ～ 6,000	5.5 ～ 6.0	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	20 18 30		20 18 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を3,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素:2.1kg りん酸:12.0kg 加里:24.6kg を差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>肥沃土壌では作物体内の硝酸態窒素が蓄積しやすいので注意すること。目標収量が低い場合は減肥すること。</li> <li>苦土炭カルについては、土壌pHが適正範囲にある場合は省略可能。</li> <li>土壌分析し可給態りん酸が不足する場合は、過りん酸石灰、ようりん等を施用すること。</li> </ol>
2回刈 6,000 ～ 8,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	20 18 30	3	23 18 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	
1回刈 4,000 ～ 5,000	5.5 ～ 6.0	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	15 13 30		15 13 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を3,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から窒素:2.1kg りん酸:12.0kg 加里:24.6kg を差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>肥沃土壌では作物体内の硝酸態窒素が蓄積しやすいので注意すること。目標収量が低い場合は減肥すること。</li> <li>苦土炭カルについては、土壌pHが適正範囲にある場合は省略可能。</li> <li>土壌分析し可給態りん酸が不足する場合は、過りん酸石灰、ようりん等を施用すること。</li> </ol>
2回刈 4,000 ～ 6,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	15 13 30	2	17 13 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	

作物名	栽培型 又は 作 型	品種名	利用 目的	栽植 様式	作 型 模 式 図																		
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
飼料用イネ	平坦・ 中山間 地帯	夢あおば たちすがた ホシアオバ クサホナミ 月の光	サイレージ (WCS) 飼料用 米	湛水直播 乾田直播 移植早植 移植普通植 3~5kg						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イタリ ア ン ラ イ グ ラ ス	平坦・ 中山間 ・高冷 地帯	ワセユタカ タチマサリ いなずま タチムシャ さつきば れ タチサカエ ジャイアント	サイレージ 乾草	2~3kg (散播)						□	□							○	○	○	○	○	○
ライム ギ	中山間 ・高冷 地帯	キングライ麦 春一番	サイレージ	6~8kg (散播)						□								○	○	○	○	○	○
エン バ ク	平坦・ 中山間 地帯 (年内 刈)	スーパーハヤ 隼	サイレージ	8~10kg (散播)										○	○	□							
飼料用 ヒエ	平坦・ 中山間 ・高冷 地帯	グリーンレット 青葉ミレット	青刈り サイレージ 乾草	3~5kg (散播)						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆 肥 及 び 土 づ くり 資 材 等 の 施 用 例	備 考
		成分	基肥	追肥	成分 合計		
稲WCS 3,500 ~ 4,000  飼料用米 700~800	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	10 10 15	3	13 10 15	・オガクズ牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素:1.4kg りん酸:8.0kg 加里:16.4kg を差し引く】	1.飼料用イネ専用品種は4t/10aまで 堆肥施用が可能。 2.直播栽培は倒伏しやすいので堆肥 施用は3,000t/10a以下に抑える。 3.たちすがたは飼料用米として不適。
1回刈 4,000 ~ 5,500	5.5 ~ 6.0	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	13 12 25	2	13 12 25	・オガクズ牛ふん堆肥を 3,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素:2.1kg りん酸:12.0kg 加里:24.6kg を差し引く】	1.倒伏防止のためらい麦、らい小麦 を混播する場合は、播種量混播割合 に注意すること。 2.苦土炭カルについては土壌pHが 適正範囲にある場合は省略可能。 3.土壌分析し可給態りん酸が不足 する場合は、過りん酸石灰、熔りん 等を施用すること。 4.春の追肥(スラリー、化学肥料等) 作物体の硝酸態窒素が蓄積しやす いので施用量を控えること。 5.堆肥連年施用などでカリ過剰の 場合は減肥する。
2回刈 5,000 ~ 6,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	13 12 25		15 12 25	・苦土炭カルを100kg施用 する。	
4,000 ~ 5,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	13 12 25		13 12 25	・オガクズ牛ふん堆肥を 3,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素:2.1kg りん酸:12.0kg 加里:24.6kg を差し引く】	1.苦土炭カルについては、土壌pHが 適正範囲にある場合は省略可能。 2.土壌分析し可給態りん酸が不足 する場合は、過りん酸石灰、熔りん 等を施用すること。 3.早播きは冬枯れの原因となり越 冬できない場合がある。
3,000 ~ 4,000	5.5 ~ 6.0	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	9 8 18		9 8 18	・オガクズ牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素:1.4kg りん酸:8.0kg 加里:16.4kg を差し引く】	1.苦土炭カルについては、土壌pHが 適正範囲にある場合は省略可能。 2.土壌分析し可給態りん酸が不足 する場合は、過りん酸石灰、熔りん 等を施用すること。 3.秋播き・春刈りの場合は、ライ ムギに準じる。
2,500 ~ 3,500	5.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	9 8 17		9 8 17	・オガクズ牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素:1.4kg りん酸:8.0kg 加里:16.4kg を差し引く】	1.土壌pHが5.0を下回る場合には、 苦土炭カルを施肥する。 2.土壌分析し可給態りん酸が不足 する場合は、過りん酸石灰、熔りん 等を施用すること。 3.出穂前に高刈りし(ロール調製 等で)株を痛めなければ再生する ので、青刈り利用であれば収穫期 間は延びるが、硝酸態窒素に注意 すること。

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	利用目的	栽植 様式	作型模式図																		
					1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
永 年 牧 草		マキバミドリ ポトマック (オーチャードグラス) クンプウ クライマックス (チモシー)	サイレージ 乾草 (採草用)	標高500m オーチャード 2.5~3.0kg																			
				標高1000m オーチャード 2.5kg チモシー 0.5kg																			
		マキバミドリ ポトマック (オーチャードグラス) ヘリオス なつさかり (チモシー) ニュージランドホワイト カリフォルニア シロカローバ ヤツカゼ2 ジャイアント (ヘレニアルグラス)	放牧用	標高500m オーチャード 2kg ケンタッキー 0.5kg シロカローバ 0.5kg																			
				標高1000m 集約的放牧 ヘレニアル 2.5kg ケンタッキー 0.3kg シロカローバ 0.2kg 中間型放牧 オーチャード 2kg ケンタッキー 0.3kg シロカローバ 0.2kg 粗放的放牧 チモシー 2kg ケンタッキー 0.3kg シロカローバ 0.2kg																			

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)				堆肥及び 土づくり資材等 の施用例	備 考
		成分	基肥	追肥	成分 合計		
4,500 ~ 5,500	6.0 ~ 6.5	播種当年度 N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O  次年度以降 N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	16 15 30  16 15 30	16 15 30  16 15 30	16 15 30  16 15 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を3,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:2.1kg りん酸:12.0kg 加里:24.6kgを差し引く】</li> <li>・苦土炭カルを100~200kg施用する。</li> <li>・ようりんを50~100kg施用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 採草地放牧地とも3年に1回は炭カルを入れる。</li> <li>2. 土壌分析し可給りん酸が不足する場合は過りん酸石灰やようりん等を施用する。</li> <li>3. 追肥は年3~4回に分けて分施する。</li> </ul>
5,000	6.0 ~ 6.5	播種当年度 N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O  次年度以降 N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	16 15 30  14 11 22	16 15 30  14 11 22	16 15 30  14 11 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を2,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:1.4kg りん酸:8.0kg 加里:16.4kgを差し引く】</li> <li>・苦土炭カルを100~200kg施用する。</li> <li>・ようりんを50~100kg施用する。</li> </ul>	